

中國民族民間器乐曲集成



辽宁卷 盘锦分卷

(三)

卷 前 语

《盘锦寺庙音乐及其它》卷，是继《盘锦鼓乐》、《盘锦秧歌音乐》卷本之后，收集整理出的一部主要以反映盘锦地区寺庙音乐的民族民间器乐曲卷本。卷内共收集整理出道教音乐曲牌114首，不重复曲目112首；古曲23首；道教音乐“老母谱”、民间鼓乐“老母谱”、“打黑戏”等百余首。并较系统地阐述了盘锦寺庙音乐概况、源流沿革，与民俗关系；艺人（乐师）；乐器；曲目及艺术特点。

由于盘锦境内寺庙现已无存，寺庙音乐乐师早已还俗或离世，因而给我们的收集、采录、整理、编辑工作带来了极大的困难。尽管收集的曲牌数量比较可观，但由于这些曲牌皆为艺人口碑传谱，又久不演奏，再加上编辑时无此类资料供参考，因而未敢妄加取舍。这样就难免有讹有误——可能某个“经曲”便是传统京剧曲牌；某个“古曲”便是民歌小调……。我们将其原始地记录下来，一是如实反映盘锦地区道教音乐原貌，二是留给后人或研究者去辨识、去比较，或许能有某些价值。

在该卷的收集、采录、整理过程中，我们得到了民间艺人杨本华、李国安，原田庄台文化站站长郝寻，特别是现仍健在的寺庙乐师黄则恩的全力协助，在此一并致谢！

编 者

目 录

卷 前 语	(1)
目 录	(2)
盘锦寺庙音乐及古曲分布图	(11)
盘锦寺庙音乐常用乐器	(12)
艺 人 照 片	(13)
艺 人 小 传	(14)
盘锦寺庙音乐概况(释文)	(15)
一, 源流沿革	(15)
二, 与民俗关系	(17)
三, 艺人(乐师)	(20)
四, 乐器	(20)
五, 曲目	(25)
六, 艺术特点	(27)
古曲简介	(27)
寺庙音乐曲牌(114首)	(29)
梅花引子	(30)
摘 郎	(31)
六 句 赞	(32)
快挂金锁	(33)
望 江 南	(34)
绣 麒 麟	(35)
翠 黄 花	(36)
百鸟朝凤	(37)
千 升 佛	(38)
雁过南楼	(39)
三 为 赞	(40)
千 升 佛	(41)

香 花 水	(41)
挂 金 锁	(42)
大 罗 也	(43)
汤 头 令	(44)
五色光辉	(45)
柳 含 烟	(46)
琵琶 令	(47)
金 罗 锁	(51)
秋 江	(52)
普渡众生	(53)
养 身 宝	(53)
风 雷 亭	(54)
献 真 宝	(54)
桂山秋月	(55)
开 经 韵	(56)
玉 阳	(57)
宝座悬灯	(57)
金光灿烂	(58)
安 全	(59)
采 莲 茶	(59)
庆 上 元	(60)
应 中 元	(60)
应 下 元	(61)
施 食	(62)
香 彩 起	(63)
平安祭祀福	(63)
雨露甘泉	(64)
三尊宝号	(65)
驻 马 亭	(66)
舍 水	(66)
三 宝 尊	(67)
三 清 宫	(67)
原留榜妆台	(68)
哭 五 更	(69)
连 环 韵	(69)
大 成 玉	(70)

报 恩	(70)
清 江 引	(71)
十 字 佛	(72)
玉 芙 蓉	(72)
蝶落金钱	(73)
成 正 果	(73)
耍 孩	(74)
行 善 良	(74)
霞光照面	(75)
一 封 书	(76)
驻 云 飞	(76)
桂 枝 香	(77)
罩 罗 袍	(77)
透 九 霄	(78)
十 献	(80)
浪 淘 沙	(81)
三点浪淘沙	(81)
三教柳含烟	(82)
参 礼	(82)
献 花	(83)
三 宝	(83)
香 赞	(84)
海真朝阴	(84)
三 请	(85)
供 献	(86)
香焚宝鼎中	(86)
拜 残	(87)
一 柱 香	(87)
参星拜斗	(88)
安 神	(89)
采 药	(90)
送圣回宫	(90)
闪 金 光	(91)
慈航普渡	(91)
金 字 经	(92)
渔 翁 乐	(93)

水 红 花	(94)
小 红 雁	(95)
五 升 佛	(96)
五 色 花	(97)
罗 江 怨	(98)
送 灯	(98)
灯 明 路	(99)
长 流 水	(99)
渡 桥	(100)
环 上 韵	(101)
行 正 路	(102)
流 水	(102)
饮 甘 泉	(103)
华 严 会	(104)
榜 妆 台	(104)
八仙庆寿	(107)
一 江 风	(108)
小 华 严	(109)
小罗经卷	(110)
催 花 曲	(111)
罗 经 卷	(112)
善 良	(113)
扬 幡	(113)
一 分 水	(114)
参 拜	(114)
拜 庙	(115)
三 座 桥	(116)
挂 榜	(117)
送灵进墓	(118)
劝 众 生	(119)
古曲曲牌(23首)	(120)
阳春白雪	(121)
长白山曲	(122)
夏 景	(123)
秋 景	(124)

寄 生 草	(125)
雁 双 飞	(126)
夜 啼	(127)
悲 秋	(129)
朝 天 子	(130)
春 之 花	(131)
梁山伯与祝英台	(132)
三 月 景	(133)
乘 凉	(134)
晚 霞	(135)
朝 歌	(136)
满 江 红	(137)
满 江 红	(137)
雪花飘扬	(138)
小雨初晴	(139)
秋 之 夜	(141)
秋 之 夜	(142)
战 鼓	(143)
月明之夜	(146)

艺人哼唱鼓乐谱 (147)

绵 搭 絮	(148)
绵 搭 絮	(150)
南 正 宫	(152)
上 山	(154)
下 山	(157)
小欧天歌	(159)
大欧天歌	(160)
薄 荷 乐	(162)
薄 荷 乐	(165)
大白云歌	(167)
游 山	(168)
游 湖	(170)
赶 轴	(174)
八 条 龙	(175)
八 条 龙	(175)

金铃锁	(176)
金铃锁	(177)
曲调子	(177)
柳河音	(179)
鸱 鸱	(180)
隔念四破	(186)
四 破	(189)
老四破	(192)
花 池	(194)
花 池	(194)
天下乐	(195)
小开门	(196)
哭皇天	(199)
得胜令	(199)
万年欢	(201)
红雁落沙滩	(201)
三节本	(202)
祭 枪	(203)
提拉穗子	(204)
串竹帘	(205)
八仙庆寿	(206)
碾 砣 子	(207)
大悲调	(207)
大枯树	(208)
天上人间	(208)
十步母重恩	(209)
月明之夜	(210)
小上坟	(210)
翻译工尺谱	(212)
大欧天歌	(213)
小言情歌	(214)
小青天歌	(215)
大 红 梅	(218)
大 花	(219)
莱 州 花	(220)

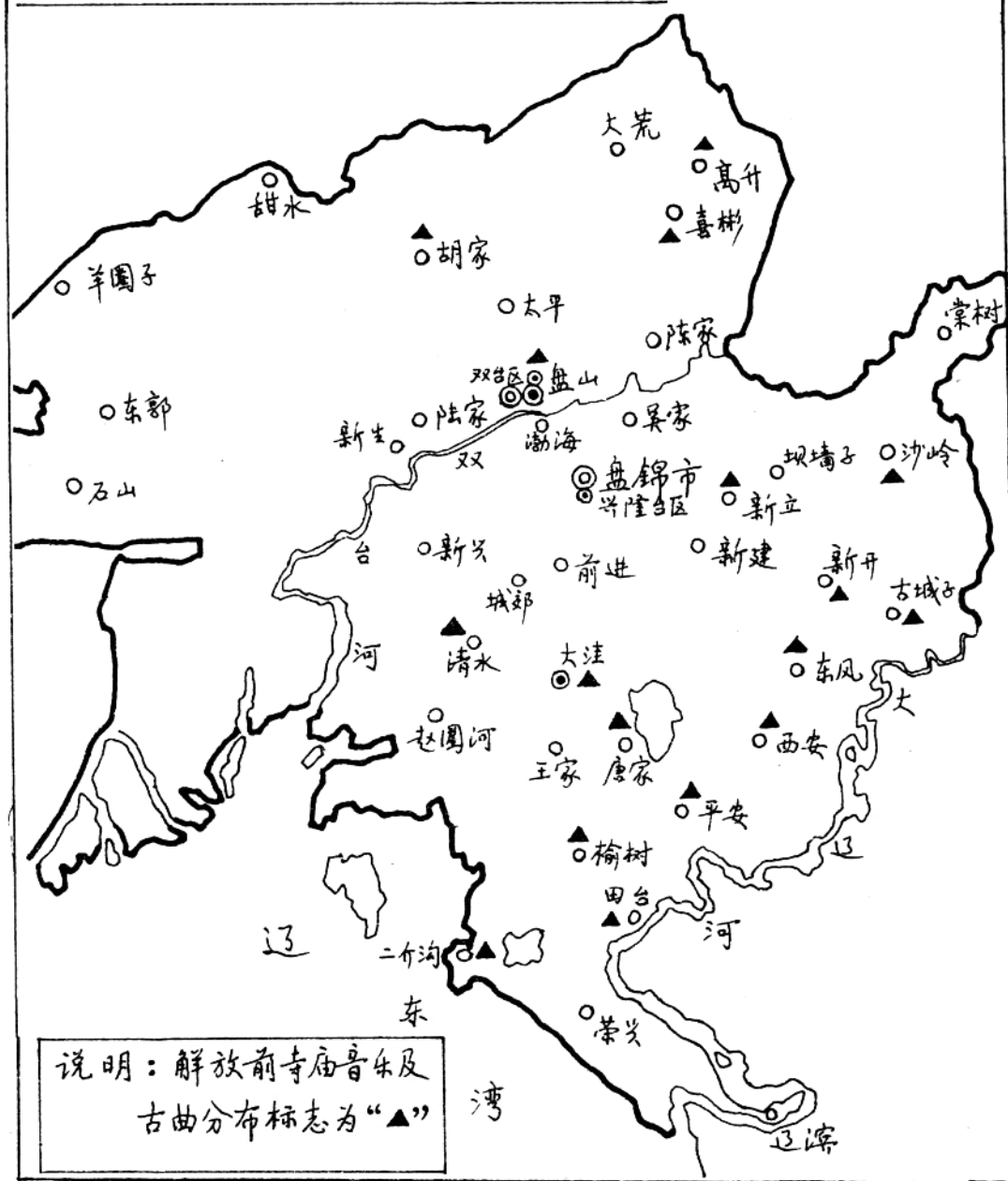
朱城调子	(222)
钟鼓楼子	(223)
凡四天下同	(226)
四 来	(228)
鸱 鹄	(234)
老 四 破	(237)
小 麦 子	(239)
金 铃 锁	(242)
曲 调 子	(242)
大 游 湖	(243)
工 尺 上	(247)
三 节 本	(248)
海 青 歌	(248)
玉 芙 蓉	(249)
一 江 风	(249)
叫 五 更	(250)
附 录	(251)

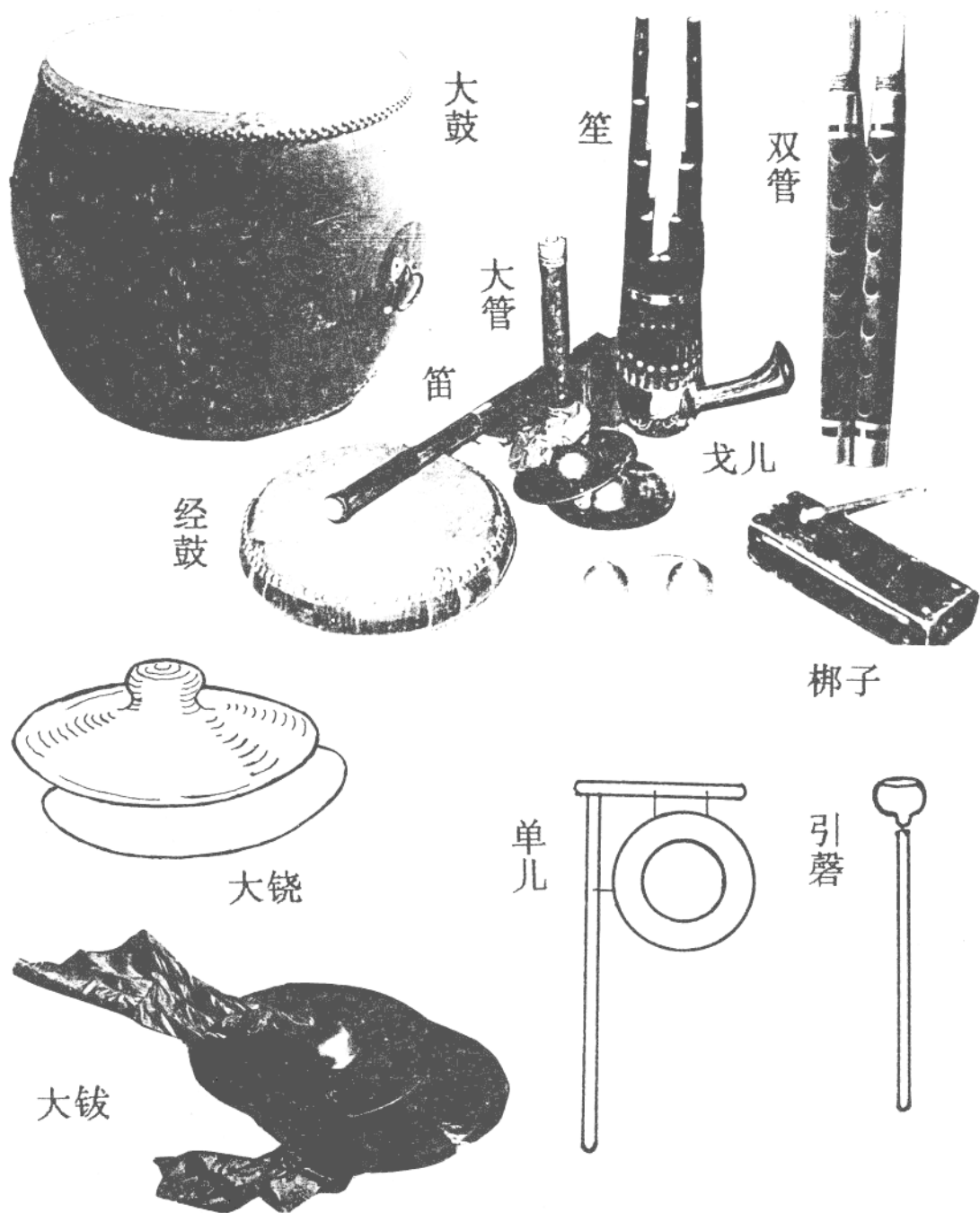
五 升 仙	(252)
经 赞	(252)
罗 江 怨	(253)
江 河 水	(253)
千 升 佛	(254)
牙 古 令	(254)
九 龙 赞	(255)
小 花 严	(255)
五 雷 咒	(257)
净 水 瓶	(259)
乐 章	(260)
小 行 道	(261)
大 煞 尾	(262)
刮 地 风	(262)
祭 枪	(263)
出 对 子	(263)
合 四 排	(266)
四 上 排	(266)

雁过南楼	(267)
唐脱令	(267)
小三皈赞	(268)
大三皈赞	(269)
天乐儿	(270)
得胜令	(271)
粉蝶	(272)
小华严	(273)
插花伞	(276)
挂金锁	(277)
迎仙客	(278)
五方戒	(279)
上堂骂玉郎	(279)
寄生草	(281)
下堂骂玉郎	(282)
感皇恩	(284)
采茶歌	(284)
寄生草	(285)
小走马	(287)
蝶落金钱	(288)
大梁州	(288)
桂枝香	(290)
妻上夫坟	(291)
醉太平	(292)
柳青娘	(295)
春景	(295)
夏景	(295)
秋景	(296)
冬景	(296)
十二月	(297)
拾不闲	(298)
黑老婆	(299)
小撼动山	(299)
劝君杯	(300)
一江风	(300)
近海寺	(301)

清江引	(301)
叶里藏花	(302)
太子行香	(303)
普庵咒	(303)
四升佛	(303)
凤山曲	(304)
打通儿	(305)
一捧书	(305)
元宝	(308)
盘锦市民族民间音乐集成	
编委会名单	(309)
盘锦市民族民间音乐集成	
《寺庙音乐及其他》卷	
编辑、工作人员名单	(310)

盘锦寺庙音乐及古曲分布图



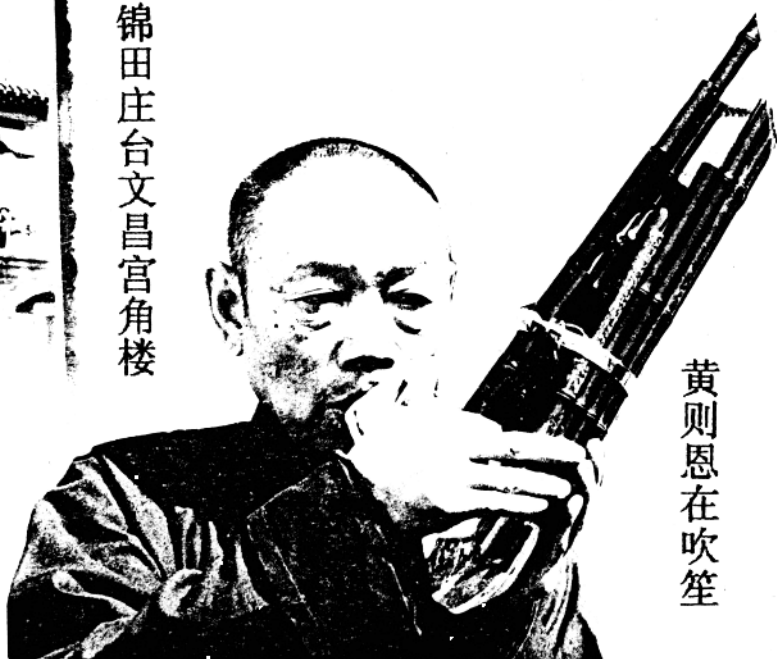


盘锦寺庙音乐常用乐器

艺 人 照 片



盘锦田庄文昌宫角楼



黄则恩在吹笙

黄则恩、杨本华等在录笙管曲



盘锦市寺庙乐师黄则恩小传

黄则恩，53岁，一九二三年农历十二月初六生于田庄台北，平安农场新屯。祖籍云南小黄金台。顺治十年黄家祖上随大批拨民来盘锦定居，黄本人现住平安农场敬老院。黄师傅十一岁上小学，十六岁毕业，由于幼年体弱，身体一直不好，因而家中便将他许于田庄台三教寺内。初时，他同三教寺内著名寺庙乐师王宝坤学吹笙，后来又同付可胜乐师学习击奏法器（打击乐）。由于天资聪颖，勤奋好学，很快便能同伙居道门内的其他乐师一块演奏。当时的主要合作者有郑文中（吹笙）、郑文选（吹笛）、丁凤革（吹管）、张连福（大笛子）、邢宝金（吹管子）、王宝坤、梁庆地等人。黄师傅不仅善吹笙及演奏法器（打击乐），还有很深厚的寺庙“经典”知识。其记忆力惊人。虽然有30几年不动法器，不念“经曲”，可仍能熟记几十首“经曲”和打击乐牌子。目前是盘锦地区唯一的一个能吹、能打、能述说各种寺庙音乐，参与民俗活动经过的，难得的寺庙音乐乐师。

盘锦寺庙音乐概况

(释文)

一、源流沿革

宗教属于上层建筑，而宗教音乐对民族文化有一定贡献。据传，最早用符号记录音乐的就源于宗教的管子曲。现在“九孔管子”在河北省仍存。当时称管子为“头管”，宗教音乐的伴奏以它为主。

宗教的发展对于器乐的发展有很大的推动和贡献。先有宗教，后有宗教音乐，宗教与宗教音乐是不同的两个概念。

盘锦市目前收集到的寺庙音乐主要是道教音乐(其他教门原有之，但没能流传下来)。在当时，主要流行在田庄台、平安、西安、东风等农场，演奏“法器”的乐师皆出在田庄台附近的“文昌宫”(三教寺)内。

道教，源于中国，其教意言感应。宗祀为老子——太上老君。以五千言《道德经》为主要经典，崇拜神仙，讲究仙术，练丹术等方术。道教分“全真道”与“正义道”两派(盘锦市境内道教为“全真道”)。

道教自始创以来，由于历朝统治者崇抑而决定兴衰。凡崇“道”者而“佛”衰；抑“道”者而“佛”兴。在这种循环关系发展中，道教几经受抑，几度复兴，传至王重阳时便有革新，主张“崇儒，通释，继则返道归真，综三教为一家，贯天下为一理”。就是让道教、佛教、儒学并列，成为封建社会三大精神支柱之一。

关东道教传身“龙门派”八代传人郭守真，开自山东即墨县马鞍山聚仙宫，源自辽东本溪九顶铁刹山八宝云光洞三清观。属全真道“金莲宗龙门派”。盘锦道教即由郭守真第五代徒孙传入。

盘锦宗教在清代大兴，有大型道观29处(小庙不计)，有道士常住的17处，有道士45人，能演奏法器的有：伙居道10人；正义道1人。据传，在盘锦有宗教便有宗教音乐。清同治七年，田庄台地区的文昌宫建起后，宗教音乐(主要是道教音乐)开始发展兴旺。不仅参与教门内的各项“喜佛事”，且经常参与社会上的多种民俗活动。演奏法器的乐师由少渐多，不光有庙中专门乐师，且有“信士”中的乐师(大多为民间鼓乐乐师)帮助，参与。因而使寺庙音乐队伍增大。

建国后，由于寺庙被毁，道士出走还俗，“信士”道心淡薄，依附于民俗的宗教信仰思想逐步以进步思想所代替。“信科学而不求神仙”已成为汉族信仰的现状，所以宗教音乐也自然随着宗教信仰的淡薄而消声匿迹。但是，历史上延留下来的宗教音乐，是一份宝贵的音乐财富，历史上寺庙音乐的作用不能低估，基于这两点我们必须全力整理出流传在当时的寺庙音乐。

盘锦市建国前道教宫、观状况(建、毁)表

宫、观名称	又 名	宫、观所在地	建于何年	毁于何年
朝阳宫	财神庙	田庄台菜市场	清嘉庆三年初建	1958年拆除
关帝庙	(无)	田庄台中心小学	清乾隆末年修建	1950年拆除
望海观	娘娘庙	田庄台镇	清道光九年建	1952年拆除
文昌宫	三教寺	田庄台, 高家	清同治七年建	建国后拆除
保灵宫	鬼王庙	田庄台, 高家	清道光十四年建	1952年拆除
凌云宫	白庙子	大洼, 唐家	不详	建国后拆除
灵神庙	水神庙	田庄台, 高家	清嘉庆年间建	建国后拆除
天圣宫	驾掌寺	大洼, 东风	传说是明代古刹	建国后拆除
望云宫	(无)	大洼, 东风, 上网铺	民国七年建	建国后拆除
镇海宫	关帝庙	大洼, 田家	清咸丰二年二月建	建国后拆除
圣清宫	无	大洼, 前进, 大堡子	清乾隆五年四月建	建国后拆除
关帝庙	无	大洼, 新兴	不详	建国后拆除
龙王庙	无	大洼, 清水五岔沟	清光绪三年六月建	建国后拆除
海云观	无	大洼, 新开, 黑牛圈	清光绪三年建	建国后拆除
龙王庙	无	大洼, 前进大堡子	清同治五年七月	建国后拆除
天仙宫	南大庙、老爷庙	盘锦双台子区	清乾隆六年建	建国后拆除
胡白大仙堂	无	盘锦双台子区	民国二十一年建	建国后拆除